

静岡県議会だより



- 1面 新春の御挨拶
12月定例会ダイジェスト
- 2～3面 ピックアップ本会議
本会議・委員会を傍聴しませんか
- 4面 ピックアップ委員会
富士高校新聞部からの寄稿記事
県議会トピックス
写真コンクール「冬の部」入選作品
県議会だよりに寄せられたご意見
県議会クイズ

令和6年度県議会だより題字コンクール 特選作品 作者／岡田梨里さん(浜松学芸高校)

令和8年1月25日(日)



令和6年度県議会だより写真コンクール 冬の部特選「寒い朝」 撮影者／佐野勝彦さん(富士宮市) 撮影地／富士宮市

新春の御挨拶



静岡県議会議長
たけうち よしのり
竹内 良訓

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健康に新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、9月に台風十五号に伴う竜巻や大雨により県内各所で大きな被害が発生しました。被災された皆さまの一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。激甚化する自然災害から県民の命と暮らしを守るため、災害に強い県土づくりの必要性を改めて感じております。

一方で、未来への希望を感じさせる明るい動きもありました。本県も開催地の一つとなった東京2025デフリンピックでは、本県ゆかりの選手の活躍が県民に勇気と感動を与えてくれました。また、富士山では、入山料の導入により登山者の安全確保と世界遺産の保全に向けた取り組みが進みました。

本年は、静岡県誕生150年の節目の年です。歴史を未来へつなぎ、本県の魅力がより一層輝く一年になることが期待されます。

県議会といたしましても、皆さまの生活や経済活動をしっかりと支え、静岡県のさらなる発展に向けて全力で取り組んでまいりますので、相変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

12月定例会ダイジェスト

12月定例会は12月1日から12月19日までの19日間開催しました。開会日に、知事から令和7年度静岡県一般会計補正予算案など56議案が提出され、議案等の説明がありました。5日間にわたる代表質問および一般質問では17人の議員が登壇し、知事の政治姿勢や令和8年度当初予算編成方針、新県立中央図書館の整備方針など県政全般にわたり活発な議論を交わしました。

12月4日には継続審査となっていた令和6年度一般会計歳入歳出決算など

17件の決算を認定しました。また12月15日には物価高への対応、暮らしの安定に向けた一般会計補正予算案が追加提出されました。

その後、常任委員会で議案の詳細な審査を行い、12月19日の最終本会議では、常任委員長の審査結果報告の後、採決を行い、全ての議案を可決または同意しました。

また同日、県の厳しい財政状況を踏まえた議員の期末手当の支給割合を据え置くための議員提案による条例案およびこれに関連する一般会計補正予算案を可決するとともに、国に対する4件の意見書案を全て可決しました。

このほか静岡県総合計画案について常任委員会で集中審査を行い、閉会後に計画案に対する提言を知事へ提出し、計画への反映を要望しました。

可決した主な議案

◆令和7年度静岡県一般会計補正予算
245億4700万円

主な事業

- 物価高騰対策<60億5200万円>
(事業者支援)
・医療、介護、障害、児童福祉施設、私立学校への物価高騰支援 ほか
(生活者支援)
・LPガス料金の負担軽減 ほか
- 暮らしの安定<109億9400万円>
・医療従事者、介護・障害福祉施設職員、児童養護施設職員、保育士等の処遇改善(賃上げ) ほか
- 台風15号による被害への対応
<2億800万円>
・被災した中小企業・小規模事業者の再建支援 ほか

「議案に対する
各党派等の賛否」は、
こちらをご覧ください



意見書(件名)

- ◎被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書
- ◎民生委員・児童委員の担い手確保と定着を求める意見書
- ◎労働時間法制の検討に向けた丁寧かつ建設的な議論を求める意見書
- ◎脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書

意見書の全文は、
こちらをご覧ください





ピックアップ
本会議

12月定例会本会議の質問と答弁から

代表質問



12月4日午前
(自民改革会議)
加畑 毅



12月5日午前
公明党静岡県議団
蓮池 章平



一般質問



12月4日午後
(ふじのくに県民クラブ)
伴 卓



12月5日午後
(無所属)
桜井 勝郎



12月5日午後
(自民改革会議)
伊藤 謙一



12月8日午前
(自民改革会議)
望月 香世子



12月8日午前
(自民改革会議)
岩田 徹也



12月8日午後
(ふじのくに県民クラブ)
菅沼 泰久



12月8日午後
(自民改革会議)
鈴木 啓嗣



12月9日午前
(自民改革会議)
飯田 末夫



12月9日午前
(ふじのくに県民クラブ)
田中 照彦



12月9日午後
(ふじのくに県民クラブ)
川崎 和子



12月9日午後
(自民改革会議)
坪内 秀樹



12月10日午前
(自民改革会議)
増田 享大



12月10日午前
(自民改革会議)
良知 淳行



12月10日午後
(ふじのくに県民クラブ)
佐野 愛子



12月10日午後
(自民改革会議)
中谷 多加二



※二次元コードから各議員の質問の録画中継をご覧いただけます

行政



財政悪化の要因と今後の改善策

Q 財政状況悪化の根本的要因と財政健全化の対策は。

A 平成29年度以降、公共施設新設や県単独事業費の増加等により歳出規模が拡大した。歳入とのギャップを埋める対策が不十分で赤字地方債発行等による自転車操業が常態化し財政指標も年々悪化した。今後は財務の見直しを徹底し、中長期計画に基づく歳入歳出の管理により赤字地方債に頼る財政運営から脱却する。また歳入確保に向け未来を育む投資にメリハリをつけて取り組み、本県の成長実現と税収増加につなげる。

ふるさと納税による歳入確保

Q ふるさと納税の取り組みの強化策は。

A 本県のふるさと納税は令和6年度実績で約55億円、地方交付税補填後でも約12億円のマイナスとなった。収支均衡を中期的な目標とし、令和7年10月に増収に向けた部局横断の検討チームを発足、広域自治体ならではの魅力的な返礼品開発に加え、体験型

会派別議員数
(令和8年1月19日現在)

自民改革会議	41人
ふじのくに県民クラブ	17人
公明党静岡県議団	5人
無所属	5人
定数68人 現員68人	

産業

本県の産業政策

Q これまでの産業政策の評価と今後の方向性は。

A 平成26年度策定の産業成長戦略で重点施策とした企業誘致や次世代産業の創出等は一定の成果が得られた。今後は活力ある多様な企業の集積に向け、経済成長や地域活性化が期待されるスタートアップに対し資金調達支援や県内企業との共創、首都圏からの誘致を推進するとともに、県内企業の新事業展開への挑戦や適切な価格転嫁、成長加速化に取り組む。また多様な企業ニーズに即応する企業誘致施策に向け体制を強化する。

戦略的な地域外交の展開

Q UCLG等国际ネットワーク活用の取り組みは。

A 新たな地域外交基本方針では、限られた人員・予算で県民や県内企業のメリッ



静岡県ふるさと納税返礼品(イメージ)

返礼品の充実等多様な検討を進めている。また企業版ふるさと納税の寄付拡充に向け企業と県の施策とのマッチングや県内に工場等がある首都圏企業を訪問し呼び掛けていく。



UCLG世界評議会(中国・西安市)

用語解説
UCLG

「世界都市自治体連合」のこと。United Cities and Local Governmentsの略。2004年設立の世界最大の地方自治体連合組織。国際政治における地方自治体の影響力の強化や、地方自治体間の交流促進等を目的に、国際会議やセミナー等を実施している。本県は令和7年6月に日本の都道府県として初めて加盟した。

林業施策の推進

Q 持続可能な林業経営に向けた施策は。

A 森林は水を蓄え土砂の流出を防ぐなど公益的な機能をもつため、林業の持続性確保が重要である。デジタル情報の活用による森林の集積・集約化や自動走行機械な



「木材搬出作業」(公社)静岡県山林協会提供)

今後の水産施策

Q 厳しい海洋・経営環境を打開し水産業を持続可能な産業とするための施策は。

A 持続可能な水産業の実現には、生産から消費に至る総合的な施策の推進が重要である。生産面では資源評価に基づく適正管理と種苗放流による資源回復、流通・加工面では消費ニーズに対応した加工原料の品質向上と安定供給、消費面では食品メーカー等と連携したメニュー提案などを進めていく。海の温暖化で漁獲量が増加している南方系魚種の資源状態の把握と利活用の研究などにも着手する。



水産物消費拡大の取り組み



教育

児童生徒の不登校対策

これまでの不登校対策の効果検証と改善策は。

Q これまでの不登校対策の効果検証と改善策は。

A 小1ギャップの解消に向け配置した小1スマイルサポーターは、効果を実感する声が寄せられている。しずおかバーチャルスクールは、参加頻度の高かった児童生徒の約6割が学校につながった。校内教育支援センターの設置促進で市町への助成を開始し、不登校児童生徒の増加率抑制に効果が出ている。また「学びの多様化学校」の設置拡大に向け市町への伴走支援を行い、さらなる多様な学びの場と居場所の確保を図る。

用語解説

小1スマイルサポーター

幼児教育と小学校教育の違いに戸惑い、授業中に席についていることができないなど、小学校生活になじめずに学習や生活に支障をきたす、いわゆる「小1ギャップ」を解消するために配置された支援員のこと。具体的には、授業時の個別支援や授業準備・給食のサポートといった支援を行う。

県立高校の魅力化

Q 私立高校無償化に対する県立高校魅力化の方策は。

A 県立高校はグローバル人材や地域リーダーの育成、産業人材を輩出する実学的学びの提供、多様な子どもたちを支援する機能など地域社会に欠かせない役割を果たしていることから、生徒や地域のニーズに対応した幅広い学科の設置や学校の適正規模の確

保に努める。また教育を受ける機会の保障に配慮しつつ、全ての地区において従来の枠組みにとらわれない魅力化・特色化に取り組み、多様な学びを支える。

生成AIを活用した特別支援教育

Q 指導計画作成のAIアシストツールの進捗状況は。

A 教員負担の軽減等に向け、研究機関等と連携し指導計画作成を支援するAIアシストツールの開発を進めており、県立特別支援学校6校にて試行検証中である。令和8年度中に全県立特別支援学校への導入を目指す。教員の心理的な抵抗感やAIの案を適切に修正・活用するスキル向上が課題である。研修等により現場の不安解消と活用力の向上に努め、将来的には全ての学校において個に応じた質の高い指導の実現を目指す。

用語解説

AIアシストツール

集約した教育データなどをAIが参照し、児童生徒一人一人の障害の状態等に応じたきめ細かな指導を行うための「個別の指導計画」の作成をサポートするもの。個に応じた指導の充実や業務の効率化が期待できる。

教職員確保対策

Q 教職員確保に向けた取り組みは。

A 代替教員を補充するための人材バンクにおける柔軟に働ける60代登録者の拡充や、特別免許状等の一層の活用、産休・育休代替者の上乗せ採用を行う。また中高生向けセミナーの開催地拡充によ

り将来の教員志願者確保を図る。令和7年度に社会人経験者対象の選考を新設し、令和8年度から育児・介護等による離職者を対象としたカムバック選考を設け、即戦力の人材を確保する。教員全体の処遇改善と長時間勤務の是正に努め教職の魅力向上を図る。

文化・観光

東部地域の周遊観光

Q 地域資源を活用した周遊観光拡大への取り組みは。

A 令和7年度は、柿田川公園、箱根西麓三島野菜を使った食、富士の名水が育んだウイスキー等を組み合わせ、富士山の恵みを活かしたモデルツアーを催行した。柿田川公園は景観、交通の利便性、滞在の満足度等が旅行者から高く評価され、今後の旅行販売増加につながると期待される。市町やDMO等と連携し、富士山、自然、食、歴史文化等の地域資源を最大限に活用し、県東部地域の魅力向上と観光周遊の促進を図る。

文化芸術の振興

Q ウェルビーイングの実現に向けた文化振興施策は。

A 県民の創造的な活動の促進に向け、県芸術祭等のアートプロジェクト活動の支援等に取り組む。また文化芸術に触れる機会の充実に向け、中高生演劇鑑賞など子どもたちを対象とする事業を展開するとともに、どこでも文化財鑑賞ができるデジタルアーカイブや3次元データ等を活用していく。文化芸術を人や地



すばっくおやこ小学校2025(授業写真)

安全・安心

熊出没時の警察の対応

Q 初動対応体制や関係機関との連携状況、県民の安心につながる安全確保策は。

A 出沒情報を認知した際には直ちに警察官が現場に行くとともに、市町等関係機関と協働し、防災無線等による注意喚起や住民の避難誘導、周辺の立ち入り規制等を行う。学校周辺や通学路で出沒した場合や登下校時間帯の警戒等学校関係者と連携して対応する。普段から各市町や地元猟友会と情報を共有するとともに、出沒情報について県警察アプリ等を通じて、正確かつタイムリーな情報発信に努める。

ドライバーの安全対策

Q 安全運転に支障のあるドライバーへの対応策は。

A 75歳以上の方が免許更新時に行う認知機能検査や医師からの通報、職務質問等の様々な観点を通じて安全運転が懸念されるドライバーの早期発見に努めている。安全

運転相談ダイヤル等の相談専用電話の設置や医療系専門職員の運転免許センター常駐により相談体制を強化し、安全運転に支障があると思われる際は診断書の提出を求め、公安委員会が運転免許継続可否の判断や運転免許停止等の行政処分を行い危険防止を図る。



ハレバレ【#8080】

医療・福祉

特別養護老人ホーム入所基準

Q ヤングケアラーが介護する際の入所基準見直しは。

A 特別養護老人ホームへの入所は県の定める優先入所指針に沿って決定されるが、子どもや若者が介護を担う場合は指針に明確な位置付けがなく、単に介護者とみなされて入所の優先順位が低くなり、学業等に影響が生じる事例がある。ヤングケアラーを主たる介護者とみなさないことを入所の優先度が高くなるよう令和7年度中に指針を見直し、子どもや若者が担う介護負担の解消を優先し適切なサービスが受けられるよう取り組む。

Q 障害者の受け入れ体制整備に向けた取り組みは。

A 企業へのジョブコーチ派遣や企業内ジョブコーチの育成とともに、精神障害者雇用企業に職場環境アドバイザーを派遣し従業員向け研修会等を行う。令和7年度は障害者活躍推進雇用サポーターが専門的見地から助言し、仕事内容のミスマッチ防止と雇用後の切れ目のない支援体制整備を行う。また職場体験会を開催し障害のある方が仕事への理解を深めるとともに、企業が障害特性や支援機関の役割等を学ぶ機会を提供する。

くらし・環境

リニア工事に伴う要対策土の処理

Q 要対策土の処理に向けた今後の対応は。

A リニア中央新幹線静岡工区の南アルプストンネル工事では、自然由来の重金属を含む要対策土の新たな発生が予測される。土壌汚染対策法の趣旨に基づく処理が不可欠であり、JR東海に対しオンサイト処理による無害・減量化や、二重遮水シートのさらなる追加措置による封じ込めの徹底を強く求め、10月の県専門部会で着実に実施する方針が示された。今後も流域住民の安全・安心の確保に向けJR東海との対話を続ける。

用語解説

オンサイト処理

工事や土砂の仮置き等を行っている現場付近に設備を設置し、自然由来の重金属等を含む要対策土を浄化する工法。トンネル掘削によって発生が予測される要対策土の総量を減らし、自然由来の重金属の無害化を行う。

決算特別委員会

10月22日から12月2日まで、令和6年度静岡県一般会計歳入歳出決算など全17件の決算審査を行いました。委員からは、令和6年度に資金手当債(調整債)を発行した経緯および根拠、MaOIプロジェクトにおける第1次戦略計画期間の成果および課題など多くの質疑がありました。結果として、全ての決算を認定すべきものと決定し、決算審査の意見を副議長から知事に手交して今後の事業執行や来年度予算編成に反映するよう要望しました。



鈴木知事に意見を提出する中田副議長

本会議・委員会を傍聴しませんか

2月定例会

開会	2月17日
質問	2月24日・25日・26日・27日
	3月2日・3日
常任委員会	3月5日・6日・9日・10日
閉会	3月16日

※日程は、今後変更になる場合があります。
本会議、委員会ともに県庁本館4階で傍聴できます。
(日程および傍聴に関する問い合わせ先
県議会事務局議事課 TEL 054-221-3481)

託児所もあります!

希望の方は
託児案内の
二次元コード
を御確認ください。

※事前予約が必要です。



傍聴案内



託児案内



ピックアップ委員会 ～常任委員会の質問と答弁から～

総務委員会

Q 総合経済対策を盛り込んだ国の補正予算を受けた県の12月補正予算編成の考え方および今後の対応方針は。

A 県民や事業者に対する物価高騰対策、医療・福祉サービスなど暮らしの安定に必要な経費について、国の補助金等を最大限活用し早期に事業効果を発揮できるように補正予算を編成した。今後も本県の未来への投資につながる積極的経済対策を講じていく。

厚生委員会

Q 介護分野の職員の賃上げや職場環境の改善等に要する経費に対する助成が、今後の継続的な賃上げに与える影響は。

A 今回の補正予算による助成は緊急的な対応であり、介護分野の職員の継続的な賃上げは令和8年度に予定されている介護報酬の改定によって図られると考える。補正予算成立後は効果の早期発現に向け速やかな執行に努める。

危機管理くらし環境委員会

Q ツキノワグマ対策におけるハンター確保策は。

A 本県ではクマの捕獲に関する知識や技術が不足しており、より多くのハンターの知識習得と技術力向上を図るため、東北地方などから経験豊富なハンターを招聘し、捕獲技術や安全管理のノウハウを直接指導する研修を考えている。今後は捕獲を担う猟友会等から意見を伺い、対策内容も含めて検討していく。

産業委員会

Q 災害時における工業用水の生活用水への緊急的な転用に向けた取り組みは。

A 転用には国の事前許可が必要であること、未消毒のため飲料水として利用できないこと、一般家庭に提供するための設備がないこと等の課題がある。緊急的に給水が必要になった場合に備え、令和8年1月に給水訓練を実施し、対応マニュアルの検証等を行っていく。

文化観光委員会

Q 中国路線が減便となる富士山静岡空港の新規路線の就航に向けた考え方は。

A 誘致先選定に当たっては、航空業界の動向や観光需要のほか産業交流の視点も勘案して運営権者と共に検討する。従来、東アジアが中心であったが国際情勢の変化に柔軟に対応し、リスク分散の観点からベトナムやタイなどの東南アジアの新規路線誘致に向け取り組みを進めていく。

建設委員会

Q 運輸業物価高騰緊急対策事業による公共交通事業者や運送業者への支援内容は。

A 物価高騰による維持修繕費の高止まりや利用者減少、資材価格高騰などにより収支悪化が長期化している地域鉄道、路線バス、離島航路、タクシー、トラック事業者が対象となる。燃料代を除くタイヤやオイルの交換、定期点検などの車両整備費用について支援する。

文教警察委員会

Q 2040年を見据えた県立高校の学校数の考え方および具体的な検討方針は。

A 県全体の人口減少に伴う生徒数の減少を踏まえた適正規模の維持に必要な学校数を示した。具体的な検討は各地域の地域協議会で実施し、令和8年度までに検討を終了する見込みである。さらにグランドデザインを踏まえ各市町や学校関係者と個別に協議し、地区ごとに進めていく。

富士高校新聞部からの「寄稿記事」です

「公立高校の在り方」をテーマに意見交換

9月5日に富士高校新聞部6名は、大石健司議員、山本彰彦議員と「公立高校の在り方について」をテーマに意見交換を行った。

「公立高校の変革について」

2033年度までに、富士地区の公立高校が再編される計画がある。再編の理由には将来の公立高校の受験者数の減少が挙げられた。その背景には、高校の授業料無償化により私立高校への入学のハードルが下がったことがある。母校に入学したいという人を増やすために高校生ができることは少ないが、通っている公立高校の良さを発信し、問題解決に役立ちたい。

部活動が学校教育から社会教育へ移り変わっていく中、部活動の地域移行は教師からすれば負担の軽減となる。しかし、高校生の視点からでは

「刷新される政治」

利点が見えにくかった。今回の意見交換を通して、高校生のレベルに合った専門性の高い指導を受けることができるなどの恩恵もあるとわかった。

静岡県でもSNSを適正に利用するための特別委員会が開かれている。また、熱海での土石流の一件から、いち早く盛り土規制の条例が制定された。時代の流れに合わせ、時に全国の先駆けとなる動きをしていると知った。議会は時代だけでなく地域に合わせた政策を行うおうとしている。そのためには私たち一人一人が声をあげることが肝要だと感じた。



令和6年度写真コンクール「冬の部」入選作品



「初冬に湧き上がる」
撮影者／山口勉さん(三島市)
撮影地／伊豆の国市



「凧上げ」
撮影者／石垣清俊さん(静岡市駿河区)
撮影地／静岡市清水区

県議会だより(9月定例会号)に寄せられたご意見

- デフリンピック、非常に盛り上がって良かったです。私は会場に行けなかったのですが、手話に興味を持ち学んでみたいと思いました。関係者の方々の頑張りに敬意を表します。
- 県の財政が厳しいと報道で知りました。各種事業が計画されていますが、改めて費用対効果や箱ものであれば維持管理等をご検討のうえ、実行願います。今のツケを次世代に先送りだけは止めていただきたいです。

県議会トピックス | 「県議会高校出前講座」

県議会では、若者世代に政治への関心を高めてもらうとともに、県議会を身近に感じてもらうため、議員が県内の高校へ出向き、生徒が興味や関心のあるテーマについて意見交換を行っています。

<令和7年9月～11月実施>

- ・富士高校
- ・伊豆総合高校
- ・静岡雙葉高校
- ・沼津市立沼津高校
- ・静岡北高校
- ・星陵高校
- ・掛川東高校

<令和8年1月実施予定>

- ・島田工業高校
- ・浜松湖北高校佐久間分校
- ・静岡農業高校



県議会クイズプレゼント付

応募フォームはこちら



《問題》

12月定例会では、県の歳入確保に向け、部局横断の検討チームを発足し、静岡県ならではの魅力的な返礼品の開発や体験型返礼品の充実などの検討を進めている、〇〇〇〇納税の取り組み強化策について質問がありました。

※〇に該当するひらがな4文字をお答えください。
(ヒントは2面にあります)

《応募要領等》

①答え②住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、③県議会だよりの感想や県議会へのご意見を添えて、2月9日(月)までに欄外の政策調査課あてに、ハガキ、FAX、Eメールまたは応募フォームでご応募ください。
正解者の中から抽選で20名の方に、「富士山麓潤いモッツアレラ ほか チーズ4種セット」をお送りいたします。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※個人情報は商品の発送と読者層の調査のために使用します。

■プレゼントのご紹介

富士山の麓で生産される良質な牛乳から作るモッツアレラは、ジューシーなミルク本来の風味と驚きの柔らかさが特徴です。「ふじのくに新商品セレクション2022」最高金賞を受賞した「富士山麓潤いモッツアレラ」をはじめ、カマンベール、オリーブオイル漬け、おつまみチーズの4種類をセットでお届けします。



富士山麓潤いモッツアレラ ほか チーズ4種セット
(写真はイメージです)

